

## Jミルク「国産乳製品等需要拡大事業」に関する 事業協力者の募集について

独立行政法人農畜産業振興機構による「国産畜産物利用安定化対策事業・国産乳製品等需要拡大事業」の事業実施主体として一般社団法人Jミルク(以下「Jミルク」という。)が実施する事業に関する事業協力者を募集します。事業への協力を希望される方は下記の通りご応募ください。

### 記

#### 第1 趣旨

国産の牛乳乳製品の消費拡大のプロモーション活動として、広報資材の作成並びに広報・宣伝活動等の実施等の消費拡大に資する取り組みを実施する。

#### 第2 対象事業

別紙1:「国産乳製品等需要拡大事業」の通り

#### 第3 応募資格

本事業を実施する経験及び能力を有し、業務及び経理等について適切かつ効率的な管理体制をもつこと。

#### 第4 応募手続

1. 募集期間 2024年5月10日(金)から2024年5月24日(金)正午
2. 応募方法等  
別紙2「事業協力参加表明書」と、事業に関する提案書(以下「企画提案書」という。)を1部添付し募集期間内に「応募・照会等窓口」にメールにて提出すること。
3. その他 応募に係る費用は一切支給しないものとする。

#### 第5 企画提案書

1. 企画提案書は以下の項目について記載すること。  
書類の様式等は定めないが、1事業あたりA4版10ページまでに取りまとめることとする。(表紙・会社概要・見積書は含めない)なお、企画提案書は、別紙の事業の区分を明確にして作成すること。また、複数事業に応募する場合は、会社概要等重複する内容については、省略可。
  - (1)実施計画、実施方法及び実施体制  
事業毎の実施計画・内容・スケジュールを記述すること。また社内の実施体制、責任者、必要に応じて主要なクリエイター及びライター、パートナー会社等を明確にすること。
  - (2)事業に必要な経費及びその積算内訳(見積書)

なお、企画費・管理費等については、その合理的根拠を明確にすること。  
例えば、企画及び管理に必要な作業量やその単価等。

(3) 関連事業の実績

事業毎に類似する実績があれば記載すること。

(4) その他参考となる資料

2. 提出された企画提案書は次の通り取り扱うこととする。

(1) 企画提案書は返却しない。

(2) 企画提案書は採点等本事業にかかる事務手続以外の目的に使用しない。

第6 事業協力者の選定等

1. 事業協力者の選定については、企画提案書を選定会議で審査することにより行う。なお審査を行う上で必要があるときは参加者に対し企画提案書の内容について説明を求めることがある。
2. 選定の基準は①企画内容、②価格の順に選定する。
3. 選定結果は2024年5月29日(水)までにすべての参加者に通知する。

第7 事業実施等

事業実施内容は、企画提案内容を両者で協議のうえ決定する。実施期間は、契約の日から2025年3月末日までとする。

第8 応募・照会等窓口

本事業の詳細のお問い合わせは下記宛てにお願いします。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5階  
一般社団法人Jミルク 学術調査グループ 前いずみ  
TEL:03-5577-7494 mae@j-milk.jp

以上

## 国産乳製品等需要拡大事業における事業協力者関連事業

事業No	実施項目	事業目的	実施内容	実施期間	主なターゲット	訴求する主な価値	企画にあたっての留意点	予算の上限 (千円・税込)
1	乳和食新規レシピコンテンツ開発並びに既存コンテンツの活用促進	若い世代に重点を置いた乳和食の知識普及・活用促進	特に若い世代(10~20代)をターゲットに、若年女性の「やせ」等の国民課題も踏まえた乳和食の価値やコンセプト理解を通して利用促進を図ることを目的に、新たに開発するレシピを含めてウェブサイト等の媒体を通じた情報発信として、既存の乳和食サイトの若い世代向け新規ページ制作および更新等を実施する。また、以下の乳和食サイトに掲載されている既存レシピリーフレットデータ(うち9点ほど)を最新の情報コンテンツに更新・制作する。 <a href="https://www.j-milk.jp/nyuwashoku/download_leaflet.html">https://www.j-milk.jp/nyuwashoku/download_leaflet.html</a> なお、レシピ開発はJミルク及びJミルクが指名する料理研究家が行い、その費用は本事業の見積りに含めなくてよい。	5月~3月	若い世代(10~20代)	乳和食の知識普及・新規乳和食ユーザーの開拓	乳を使った手軽な減塩料理としての乳和食を、10~20代の視点を生かしながら、若い世代に取り入れやすくする工夫。また、既存コンテンツを、有効活用する工夫。	3,500
2	乳和食指導者向け講習会	乳和食の指導者として必要な知識・技能の習得・定着を図るための講習会を企画運営する	日本全国で、乳和食指導者として活躍する者を対象として、乳和食が適切に展開されるよう、必要な知識・技能の習得の場として、基礎及び最新調理技術、レシピを学ぶ乳和食指導者向け講習会(座学+調理実習)の企画・募集等の運営を行う。参加者40名を想定し講師はJミルクが指定する。 ※座学はオンラインを併用し、1回の開催とする。 (見積りに含めなくてよい費用)講師旅費謝金	6月	全国の乳和食指導者	乳和食が適切に展開されるよう、基礎及び最新調理技術、レシピを学ぶ	参加者募集の広報を工夫し、乳和食指導者が全国から参加申込しやすい工夫。	1,500
3	学校給食のない日を対象とした牛乳乳製品の普及啓発活動	牛乳乳製品の活用促進及び牛乳の栄養的価値や利用価値の訴求	小中学校の児童生徒とその保護者を対象に、学校で給食提供が休みとなる土日・祝日、長期休みなどの「給食のない日」にも家庭で牛乳摂取されるよう、牛乳乳製品の飲用・利用習慣を定着させるための取り組み促進と促進のために必要なコンテンツ開発、全国の学校や小売等と連携した食育活動の推進、これらPR活動としての消費者向けイベントの実施及び、SNSを活用した情報発信等による普及啓発活動を実施。 事業実施にあたっては、以下の「土日ミルク」の活動を参考にし、全国の学校や酪農乳業等の関係者とも連携した取り組みを意識すること。また過去2年展開したツールを活用促進することを前提に2024年度の取り組みを通して自走していけるよう、持続可能な手段を講じること。 <a href="https://donichi-milk.jp/">https://donichi-milk.jp/</a> なお、全国の関係者と円滑な事業運営を行うため必要に応じて運営事務局を開設・運営する。	5月~3月	子どもとその保護者、酪農乳業関係者、教育関係者等	牛乳乳製品の価値や酪農乳業の理解促進	学校給食休止時の消費減に対応するための牛乳乳製品の普及啓発活動	100,000

一般社団法人Jミルク 専務理事 殿

住所  
商号または名称  
代表者氏名

「国産乳製品等需要拡大事業」に関する事業協力参加表明書

標記、事業に係る企画提案書を下記の通り提出します。

記

応募事業 応募する事業に○を記入。

応募事業 (○を記入)	No	実施項目
	1	乳和食新規レシピコンテンツ開発並びに既存コンテンツの活用促進
	2	乳和食指導者向け講習会
	3	学校給食のない日を対象とした牛乳乳製品の普及啓発活動

添付書類:企画提案書 1 部

【連絡先・担当者】

氏名(ふりがな)	
所属・役職	
電話番号	
E-mail	

以上